

(議事1)

2025年への具体的対応方針について

② 民間医療機関の具体的対応方針

民間医療機関2025年への対応方針調査結果(豊肥圏域)

1. 病床について

①【病床数比較】

医療機関名	病床数(床)																		
	合計			高度急性期			急性期			回復期			慢性期			休棟中	休棟	廃止	介護保険施設等へ移行
	現在	2025年	増減	現在	2025年	増減	現在	2025年	増減	現在	2025年	増減	現在	2025年	増減	現在	2025年		
1 おぐり胃腸肛門科	17	17	0			0	17	17	0			0			0				
2 ごとう消化器科・内科クリニック	19	10	▲ 9			0	19	10	▲ 9			0			0			9	
3 天心堂おおの診療所	2	0	▲ 2			0			0			0			0	2			2
4 土生医院	19	19	0			0			0			0	19	19	0				
5 佐藤産婦人科医院	1	1	0			0	1	1	0			0			0				
6 婦巖会みえ病院	110	110	0			0	60	56	▲ 4	26	29	3	24	25	1				
7 福島病院	60	60	0			0	60	60	0			0			0				
8 伊藤医院	19	19	0			0	19	19	0			0			0				
9 志賀内科	19	19	0			0	19	15	▲ 4			0		4	4				
10 竹田クリニック	19	0	▲ 19			0			0			0	19		▲ 19				19
11 古島眼科	19	19	0			0	19	19	0			0			0				
12 道全内科	19	19	0			0			0	19	19	0			0				
13 秦医院	19	14	▲ 5			0	19	14	▲ 5			0			0			5	
【公立・公的医療機関】(※経営強化プラン、2025プランより抜粋)																			
豊後大野市民病院	195	195	0			0	84	84	0	72	72	0	39	39	0				
竹田医師会病院	156	156	0			0	84	84	0		72	72	72		▲ 72				
【未報告医療機関】(※R3病床機能報告より抜粋)																			
2医療機関	109	109	0	0	0	0	73	73	0	0	0	0	36	36	0	0	0	0	0
合計	802	767	▲ 35	0	0	0	474	452	▲ 22	117	192	75	209	123	▲ 86	2	0	14	21

[参考]医療構想(豊肥)の2025年必要病床数

	病床数(床)														
	合計			高度急性期			急性期			回復期			慢性期		
	2025年 予定	2025年 必要数	過不足	2025年 予定	2025年 必要数	過不足	2025年 予定	2025年 必要数	過不足	2025年 予定	2025年 必要数	過不足	2025年 予定	2025年 必要数	過不足
2025年必要病床数との比較	767	608	159	0	33	▲ 33	452	177	275	192	223	▲ 31	123	175	▲ 52

1. 病床について

③[2025年に向けた病床活用の見通し]

医療機関名	現状維持	変更等	内 容
1 おぐり胃腸肛門科	●		患者様の急な症状にも対応できるようにしたいと考えています。
2 ごとう消化器科・内科クリニック		●	今後も消化器疾患に対する処置及び検査を中心に、一般的な内科疾患に対しても医療を提供していく。現在の当院の病床利用率と今後の医療需要を見据えて病床の一部を廃止予定である。
3 天心堂おおの診療所		●	地域の救急受け入れ、及び入院機能を併せ持つ施設は基幹病院(公立病院)へ委ねている。今後もその状況は変わらず、当院は小規模ではあるが医療と介護の複合施設の特性を活かして事業展開をしていく。現在与えられている病床2床では運営的にも効率的でなく運用が非常に難しい。より有用な価値あるものとするため併設の老人保健施設(25床)のベッドへ転換し在宅復帰の役割を担う施設の収容能力を広げたい。
4 土生医院	●		現状どおり
5 佐藤産婦人科医院	●		1床を大切に利用し、日帰り手術に使ったり急性腹症等で痛みをとったり、救急搬送の待機に利用したい。
6 婦巖会みえ病院		●	引き続き地域の2次救急医療機関としての役割を持ちつつ、在宅復帰支援機能としての回復期、地域包括ケアの推進を図る。
7 福島病院	●		今後も地域に根差した病院として内科全般や高度の手術を必要としない外科や整形外科の患者を受け入れていく。また、在宅医療や緩和治療の充実を図りどのような状態の患者にも対応出来る様にしていく。
8 伊藤医院	●		現状どおり
9 志賀内科		●	今後も竹田地域特有の超高齢化に対応した地域に密着した医療体制を取っていきたいと考えている。そのために急性期病床の一部を慢性期病床に変換する方針である。またその後も人口減少に対応した効率の良い病床運営も検討する。
10 竹田クリニック		●	今後も継続して竹田市を中心とした豊肥医療圏の透析診療を担っていく。更に将来の豊肥医療圏の医療介護需要を見据えて、介護医療院への転換を計画しており、要介護者の介護サービスも行っていく予定である。
11 古島眼科	●		今後の医療需要の推移を慎重に見極めながら、最適な眼科医療技術を維持・継続していきたいと考える。
12 道全内科	●		現在の病床を維持し、今後も在宅や施設からの急変時の受け入れや連携医療機関からの終末期医療の必要な方、急性期経過後の受け入れ等、幅広い病気の患者様に医療を提供します。
13 秦医院		●	令和4年度地域医療構想を推進するため、令和5年9月末日までに、急性期病床(一般病床)を5床削減し、14床とする。病床数の適正化を図ったうえで、引き続き現状の診療体制を維持していくとともに、在宅医療や外来診療の役割も担っていく。

2. 医療機能について

医療機関名	診療科目数	診療科目	現在(2022年9月末時点)												
			医療機能												
			5疾病					5事業					その他		
			がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	小児	周産期	救急	災害	へき地			
1 おぐり胃腸肛門科	3	消化器内科、肛門科、内科	●												在宅医療
2 ごとう消化器科・内科クリニック	4	消化器内科 循環器科 呼吸器科 一般内科													
3 天心堂おおの診療所	3	内科、外科、整形外科													在宅医療
4 土生医院	5	内科・外科・消化器・肛門科・麻酔科				●							●		在宅医療
5 佐藤産婦人科医院	2	産婦人科 / 小児科												●	
6 婦巖会みえ病院	26	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、腎臓内科、神経内科、内視鏡内科、人工透析内科、外科、心血管外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、精神科、リウマチ科、皮膚科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科、救急科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科、腎臓内科(人工透析)、消化器内科(内視鏡)、肝臓内科、大腸・肛門外科	●	●	●	●				●					在宅医療
7 福島病院	9	内科・外科・腎臓内科・人工透析内科・循環器内科・消化器内科・呼吸器内科・糖尿病内科・腫瘍内科	●	●	●	●				●					在宅医療、人工透析、リハビリテーション
8 伊藤医院															
9 志賀内科	1	内科				●				●			●		在宅医療
10 竹田クリニック	2	内科・人工透析内科											●		人工透析
11 古島眼科	1	眼科													
12 道全内科	1	内科				●									在宅医療
13 秦医院	1	内科	●	●	●										在宅医療
医療機能合計			4	2	3	6	0	0	0	3	0	4			

2025年7月1日時点												
医療機能												
5疾病					5事業					その他		
がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	小児	周産期	救急	災害	へき地			
●												在宅医療
												在宅医療
			●								●	在宅医療
											●	
●	●	●	●				●					在宅医療
●	●	●	●				●					在宅医療、人工透析、リハビリテーション
			●				●				●	在宅医療
											●	人工透析
			●									在宅医療
●		●	●									在宅医療
4	2	3	6	0	0	0	3	0	4			

3. 連携している医療機関について

医療機関名	主な紹介元医療機関	主な紹介先医療機関
1 おぐり胃腸肛門科	アルメイダ病院	大分県立病院
2 ごとう消化器科・内科クリニック	いぬかい児玉医院 三重東クリニック 麻生医院	福島病院 豊後大野市民病院 みえ病院
3 天心堂おおの診療所	天心堂へつぎ病院	天心堂へつぎ病院
4 土生医院		
5 佐藤産婦人科医院		大分県立病院 大分大学附属病院
6 帰巖会みえ病院	大分市医師会立アルメイダ病院	大分市医師会立アルメイダ病院
7 福島病院	ごとう消化器内科クリニック、にこにこ内科クリニック、おぐり胃腸肛門科クリニック	大分市医師会立アルメイダ病院、大分県立病院、豊後大野市民病院
8 伊藤医院		
9 志賀内科	竹田医師会病院 豊後大野市民病院 大分大学医学部付属病院	竹田医師会病院 豊後大野市民病院 大分県立病院
10 竹田クリニック	大分記念病院、大分県立病院、道全内科	大分記念病院、大分県立病院、大分大学医学部附属病院
11 古島眼科	竹田医師会病院、大分県立病院、大分大学付属病院、市内医療機関	竹田医師会病院、大分県立病院、大分大学付属病院、市内医療機関
12 道全内科	竹田医師会病院、大分赤十字病院、豊後大野市民病院	竹田医師会病院、大分赤十字病院、豊後大野市民病院
13 秦医院		

4. 当院の特徴について

医療機関名		特徴①		特徴②	
1	おぐり胃腸肛門科		消化器内科、肛門外科、内科を軸とし、精査、加療を行っています。必要に応じて地域の病院及び診療所と連携し専門医への紹介としています。		
2	ごとう消化器科・内科クリニック	職員の チームワーク	看護師・管理栄養士・事務・調理師全てが、個々の患者様に対してカンファレンスを適宜行い、ぬくもりのある医療を提供している。特に病院食に関しては、患者さまに合わせた食事を提供しており高い評価を頂いている。	消化器疾患に 対する検査	他医からの検査・処置依頼も多く、上・下部消化管内視鏡検査を中心に消化管疾患、CTを用いることにより肝臓・胆嚢・膵臓疾患に対しても早期発見・早期診断を行なっている。特に、内視鏡については吐血・下血の緊急を有する患者様に対しても可能な限り処置を行なっている。
3	天心堂おおの診療所	在宅医療	在宅療養支援診療所として自宅(または施設)で暮らす方々に対して、24時間緊急時の対応を行い安心して長く住み慣れた地域に暮らし続けられる支援を行っています。	医療・介護連携	介護老人保健施設を初め、介護サービス事業を広く展開しています。医療・介護のシームレスな支援を事業体として取り組んでいます。
4	土生医院	家庭的雰囲気	内科・外科・その他を標榜し長年(開院当初よりの)勤務の職員も多く患者とのコミュニケーションもとれて、地域の家庭的医を目指している。救急を標榜しているわけではないが、本来救急医として長年従事した実績もあり、出来るだけ患者の要望に応える方針である。		
5	佐藤産婦人科医院		市町村からの検診事業に協力、乳児検診・予防接種 妊婦健診・婦人科の診察等積極的に行っている。		
6	婦産会みえ病院	24時間365日 緊急対応	急なケガや病気で緊急治療が必要になったときに、遠方に行くことなく安心して治療ができる病院です。2021年12月には旧救急処置室から、各種の高性能医療機器を揃えた新救急処置室に移動しました。併せて、16列CTを全国的に導入事例の少ない高機能コンピューター断層撮影装置256列CTにグレードアップを図っています。また、専門的な心臓治療ができる血管造影装置も備えており、地域密着でありながら高度な医療・技術を提供しています。医師や看護師を中心に、専門スタッフが地域の皆さまのいのちを守るために力を尽くします。	在宅医療 の充実	通院中や入院中だけでなく、日々の健康を守ることも私たちの大切な役割です。退院後も安心して過ごせるように、ご自宅、グループホーム、老人ホームなどの生活拠点に医師や看護師、リハビリや介護のスタッフがお伺いして健康サポートを行います。各部署の密な連携によって、一人ひとりに適切なケアが可能です。住み慣れた場所でおだやかな生活を送れるようお手伝いしながら、地域の健康づくりに貢献しています。
7	福島病院	チームワーク	内科・外科・循環器内科・腎臓内科・消化器内科・呼吸器内科・腫瘍内科を軸に専門医同士が密に連携を図り、全身管理を念頭に置いた総合的な診療を提供している。急性期から在宅復帰後まで幅広いステージで地域医療を支え、高齢者福祉施設のサポートも行っている。	維持血液 透析治療	年17,800回程度の維持血液透析を行うとともに、内シャント造設術や透析導入も行う。また、シャント閉塞に対する緊急でのPTAや手術も行っている。
8	伊藤医院				
9	志賀内科	特徴的な 医療体制	創立当初から地域に密着したかかり医、1次医療機関として幅広い疾患に対応した診療を行っている。また高齢者、独居など当地域の実情に配慮し、患者様、ご家族のニーズに応えられるような医療の提供を目指している。	特徴的な 連携体制	医療資源の限られる当地域においては他の医療機関と連携が非常に大切であると考えている。豊肥地区の竹田医師会病院、豊後大野市民病院を中心に、その他市外の医療機関とも密接に連携をとっている。また在宅医療を見据え訪問看護ステーション、ケアマネージャーなども連携を大切にしている。
10	竹田クリニック	患者中心の チーム医療	・当院は、4人の医師が理想の病院「患者中心のチーム医療」の実践を理念に開院しました。患者のニーズを第一に全スタッフが専門性を発揮し、グループプラクティスを実践し、最善の医療サービスの提供を心がけています。	透析専門の 診療所	・透析専門の診療所として、竹田市を中心とした豊肥医療圏の透析患者の診療治療を担っており、現在、外来透析患者77名、入院透析患者6名の透析治療を行っている。また、お盆や正月など里帰り透析や旅行透析も年間10名程度行っている。
11	古島眼科		当院の診療エリアは、竹田市並びに隣接する豊後大野市の一部、熊本県阿蘇市の一部、宮崎県高千穂市の一部など、広範囲の患者を診察。平成6年7月29日に医療法人古島眼科を設立し、組織を再編成、一般診療病床数を19床に変更し、基本理念理念の実現に向けて、地域の医療・介護・福祉機関と連携しながら、地域住民に信頼される医療サービスの提供に取り組んでいる。		三才児眼科検診、小中高、眼科学校検診、高齢者医療施設往診、独居高齢者往診生活習慣予防委員会 等
12	道全内科	在宅医療	・病床のある在宅療養支援診療所として24時間・365日連絡がとれ必要時には入院対応しています。 ・在宅での看取りや終末期医療(ターミナルケア)にも積極的に取り組んでいます。		
13	秦医院				

5. 現状と今後の方針等

医療機関名	当院の現状	当院の未来像	その他(県民・受信者へのメッセージ等)
1 おぐり胃腸肛門科	患者様の安全性を心がけ内視鏡検査による癌の早期発見、早期治療を心がけております。新型コロナウイルス感染症予防の為、積極的にワクチン接種を行っています。消化器内科、肛門外科、内科を軸に地域のかかりつけ医療機関として対応しております。	地域に密着した医療機関を今後も心がけ総合病院との連携をとっていきます。	
2 ごとう消化器科・内科クリニック	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざし、プライマリケアを中心とした医療提供を行う。 ・時間外診療も可能な限り対応しており、診療が困難な場合は必要に応じて指示を行う。 ・内視鏡については、近隣の診療所様からの検査及び治療依頼も増加しており、そのニーズに添えるよう努力している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もかかりつけ医として、地域の皆様に対して可能な限り必要な医療を提供する。そのために、近隣の病院様・診療所様との連携を緊密にとり、必要であれば当院での入院治療を、また病院様への紹介を行う。 ・内視鏡検査及び治療に対しても、紹介患者様の増加に伴い、さらに安全に行えるよう内視鏡検査技師の資格をもつスタッフを増やす。 	地域の皆様に対しまして、かかりつけ医としての役割を果たすことはもちろんのこと、苦痛のない内視鏡検査にも努めております。
3 天心堂おおの診療所	<ul style="list-style-type: none"> ・患者様の全身管理を念頭に置き、早期発見・早期治療を心がけており、質の高い医療を提供している。 ・在宅患者には24時間365日、緊急時に対応できる体制を整えている。 ・地域のかかりつけ医として生活習慣病の指導管理を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢化と過疎化が著しくニーズの偏在化、広域化が予測される。エリアを拡大してのサービス提供が望まれることは必至で、スタッフの充実とスキルの向上を目指す。 ・かかりつけ医としての機能を高め、連携医療機関との協力関係を更に強固にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊後大野市大野町を中心に地域に住む方々の健康維持をサポートしていきます。 ・自分にとって適切な医療・介護サービスが何かなどお気軽にご相談ください。専門職がお話を聞き一緒に考えていきます。
4 土生医院	当然高度医療に関しては病院などに依頼するが、大分市との距離は高齢者(家族)にとっては、無視できないしさほど高度医療を必要としない場合(栄養管理等)当院で入院加療している。	本来治療に関しては、入院・外来が一体的なものであり、現在の医療体制の狭間で行き場のない患者さんのニーズに応え 更に今後ハビリ機能を追加していきたい (試験的に実施中)	様々な制度を実施するにあたり、必ずしも全てが充足されるわけではなく必ず制度間でも漏れる方が存在する。これらの方々の受け皿に制約の有床診療所に適応があると思われる。
5 佐藤産婦人科医院	コロナの影響もあり、 患者数も減少	引き続き、安心安全で満足のいく産婦人科医療を提供 できるように継続していく	親切・丁寧に診察 婦人科診療・妊婦健診・予防接種行っています。
6 帰巖会みえ病院	救急医療～急性期治療→回復期リハビリテーション→在宅復帰→在宅医療・介護と当院では、病気やケガがあっても遠方の都市部での入院治療を選択せずとも一定水準の医療および生活支援が提供されるような機能を備えています。高齢化が進む多くの山間部も医療圏域としているため、通院が困難な状況となっても無料送迎を行いつつ、訪問診療などの在宅医療も選択できるような体制を敷いていることから、地域住民の皆様との健康と安全と安心を可能な限りサポートしています。	地域の人口減少や高齢化はもとより、働き手の不足も深刻な問題となってきたことも事実です。 今後の地域の状況に応じたサイジングは検討を続ける必要がある と考えております。しかしながら、 引き続き地域医療および地域介護やケアの担い手として、体制を整えていく 予定としております。	
7 福島病院	患者様の全身管理を念頭に置き、早期発見・早期治療を心がけており、質の高い医療を提供している。救急告示病院として24時間365日、救急の診療に対応できる体制を整え、緊急時は大分市の高度医療機関と連携し早急な治療を行うことが出来る。地域に根差した医療機関として幅広いステージの患者に対応し、地域のかかりつけ病院となっている。行政や警察、少年院、医師会からの依頼も積極的に行うため年末年始等もほぼ稼働している。 療状は常に適度に近い状態であり、急患に対応するためベッドコントロールに難渋している。	将来は現在の医療レベルを維持するとともに 整形外科等の診療科を増やし、より総合的な医療を目指す 。最新検査機器を導入し、診断能力や治療能力の向上を図る。 訪問看護ステーションを開設し、24時間体制の在宅医療を開始していく 。地域の病院様及び診療所様との連携を深め、患者様にとって利便性の高い病院になるよう目指す。	救急医療はもちろんの事、地域の患者様が必要とする医療を技術と真心をもって提供していきます。在宅医療の充実を図り、患者様やそのご家族にとって最適な環境や治療を提供していきます。また、社会復帰までのサポートを一貫して行っています。
8 伊藤医院			
9 志賀内科	過疎地域という竹田地区に必要な医療ニーズに応えられるような地域に密着した医療提供を心がけている。またかかりつけ医として患者様の様々な疾患に対応し、必要な場合は適切な専門医受診につながるよう連携を強化している。	今後当該地域は更なる過疎化が進行すると考えられる。現時点でも高齢者の在宅医療と高次病院や入所施設との間に存在する 中間医療機関としてのニーズが高まっている と感じている。 今後はそのようなニーズに対応できるように更なる医療体制の充実を行っていく 予定である。	

5. 現状と今後の方針等

医療機関名	当院の現状	当院の未来像	その他(県民・受信者へのメッセージ等)
10 竹田クリニック	<p>・地域のニーズを踏まえた19床の透析専門有床診療所として医療サービスを提供している。</p> <p>①透析ベッド50台、透析監視装置44台設置し、外来透析患者77名・入院透析患者6名の計83名の透析治療を行っている。</p> <p>②お盆や正月など里帰り透析や旅行透析も年間10名程度行っている。</p> <p>③医療設備として一般撮影装置、超音波装置、自動血球分析装置、電解質分析装置、心電図などを設置し、一般診療にも対応している。</p>	<p>・<u>今後も継続して竹田市を中心とした豊肥医療圏の透析診療を担っていく。</u>また、将来の豊肥医療圏の医療・介護需要を見据えて、要介護者の介護サービスも行えるように<u>介護医療院への転換を計画している。</u>地域の医療・介護施設との連携を深め、地域で必要とされる診療所を目指していきます。</p>	<p>・今後も継続して竹田市を中心とした豊肥医療圏の透析診療を担っていきます。また、将来の豊肥医療圏の医療・介護需要を見据えて、要介護者の介護サービスも行えるように介護医療院への転換を計画しています。引き続き、地域の皆様の健康と幸福に貢献できるよう努めてまいります。</p>
11 古島眼科	<p>肥地区並びに、近隣の市町村においては、高齢者に対する医療サービスの維持・向上について、新型コロナウイルス感染症終息後の医療体制を見据えて本来の病床19床の全症運用に向けた体制の強化を検討。眼科医常勤医の増員、医師後継者の育成(待機者も含む)</p>	<p>1)年間600件を超える高齢者の手術適応患者や他の急性期対応が必要な患者を適切な入院治療をすること。</p> <p>2)地域の医療施設(主に内科)から紹介される患者の眼合併症の受け入れと治療。</p> <p>3)急性期病床に入院後さらなる高度医療を必要と判断され都市部の他の医療圏の病院へ転送された患者が治療後の逆紹介の受診(回復期ケア)</p> <p>4)地域の介護施設との連携による超高齢者の治療後の点眼運用教育</p> <p>当院は、<u>上述した4つの役割をはたすために他医療機関との連携の下、地域住民に対して、信頼できる救急医療サービスを提供する。</u></p>	
12 道全内科	<p>有床診療所のかかりつけ医として</p> <p>① 病院からの急性期経過後の在宅・介護施設への受け渡し機能</p> <p>② 患者様の希望や必要に応じて専門医への紹介</p> <p>③ 在宅や入院での終末期医療を担う機能</p> <p>④ 24時間365日緊急時に連絡対応できる機能 など行っています。</p>	<p>・<u>現状の体制を維持しながら向上し</u>、よりよい医療を提供できるように心がけて行きます。</p>	<p>・かかりつけ医として独居のお年寄りや介護が必要な老々夫婦、認知症のある方など皆様が住み慣れたところで安心して暮らせるように多職種と連携し医療・介護サービスを提供できるように取り組んでまいります。</p> <p>・医療・介護サービスなどわからないことことがあれば、何でも相談してください。</p>
13 泰医院			